

平成23年度 市政懇談会(西有家地区)会議録

- 期 日 : 平成23年8月1日(月)19時30分～21時25分  
 □ 場 所 : 西有家総合学習センター  
 □ 出席者数 : 45人

質疑内容	回答	回答者
災害を考えると、日本は大変です。特に福島の原因力問題、円高、新潟災害等、10年したら日本は潰れるのではと懸念しています。4、5年後には地方交付税も減らされるので、節約をしていく必要があります。議員も24人から15人くらいにしてください。議員数を減らすかわりに、給料は上げていいです。日当制にしてもいいのではないのでしょうか。南島原市の将来のために、預貯金を貯めてください。	厳しい経済の中で震災が起き、円高が進んでいます。製造業、中小企業は非常に厳しい状況です。南島原市の10、20年後を見据え、いろいろな行革に取り組んできています。議員の定数は、私からお答えできません。おっしゃることも含めて、貴重な意見と言うことで、今後議員の皆さんと相談しながら進めていきます。	市長
西有家町に築50年以上なる漁民アパートがあります。現場を見てください。	①漁民アパートですが、私も気になっています。旧町時代から、入居者との関係もあり、なかなか対応ができていない状況です。危ない建物に間違いありませんので、今後も話をしていきます。 ②漁民アパートは、4階建てで昭和40年の建設です。昔1階が漁協の事務所、建物も古くバランスも悪く、耐震の基準値からみても危険な状況です。市になり、11戸ありましたが、順次転居をお願いし、現在、5戸6人が住んでいらしゃいます。替わりの住居を案内していますが、高齢者が多く、車もなく、他だとなかなか住みづらいとの理由で進んでいません。引き続き取り組んでいきます。	①市長 ②建設部長
南島原市は県内で5番目の人口の多い市になっています。私は百姓をしています。深江～有家は、基盤整備ができています。ところが西有家～加津佐は、基盤整備ができていません。行政で積極的にやってください。	①基盤整備の件は、西部の方はまだ進んでいない状況です。国の予算がカットされている状況ですが、県とも一緒に基盤整備は農業振興に欠かせないので取り組んでいきます。西有家も計画しております。地元の皆さんと相談して、進めていきます。 ②農地の基盤整備は、深江～有家は県営の整備事業で基盤整備が進んでいます。西有家～加津佐は、中山間地域という悪い条件もありますが、農地の基盤整備が進んでいない状況です。現在、本市において県営の基盤整備は3地区(原尾地区、大苑地区、加津佐西部地区)が実施しています。平成20年度までは、本市で8地区が県営、市営で基盤整備をしました。今後の事業の推進は、新規の地区が加津佐空池原地区、深江諏訪地区、馬場地区、西有家の見岳地区です。見岳地区は旧町からの計画ですが、関係者との話があまり進んでいない状況です。何とか関係農家、地元の皆さんと協議を進めながら、事業の推進に努めていきます。	①市長 ②農林水産部長
国道251号線に南島原消防署があります。取り付け道路に、信号機を一つお願いします。	①消防署前の信号機設置については、警察と公安委員会に相談します。 ②検討課題とさせていただきます。消防署の隣には植栽、トイレ、倉庫、防災拠点施設、避難場所、地域の人の憩いの場の利用をしていただくように考えています。	①市長 ②総務部長
有家町の前田から元町長宅前に、ガードレールの設置の検討をお願いします。	①その場所は私も知っています。 ②前田の道は昭和50年のはじめに建設し、幅員3m(路肩含め)であるため、車はすれ違えません。問題は防護柵を設置した場合、幅員が3mから2m50cmになるため、現在まで設置していませんでした。現場は見ております。	①市長 ②建設部長
島鉄跡地に、草が生い茂っている状況です。この跡地の問題をどう考えられているのか。きれいな海も見えない状況です。	島鉄跡地の件は、島鉄全線で荒れています。この荒れ地を、こだけ草を切っほしいという要望をお伝えするしかありません。民地ですので、市から島鉄に強く申し上げ、切ってもらよう要望しています。市に全線一括して考えてほしいと要望がきておりますが、島鉄独自でも考えていらしゃいます。今から先どのようになっていかは、島鉄の考え次第です。島鉄に活用を働き掛け、荒れている部分を解消できるようにお願いしていきます。市に連絡をいただければ、強く要望していきます。	企画振興部長

質疑内容	回答	回答者
龍石に川が3本あり、昨年からの下流だけは草を切ってもらっています。中流から上流も草を切ってください。	川竹の伐採については、2級河川も含め平成21年度から緊急雇用で対応しており、昨年は龍石川を実施しております。今年度は10月～3月に予定をしています。状況を見ながら、ひどいところから実施していく予定です。検討させていただきます。災害ですが、公共災、市道、河川ですが、市道認定をされています。市道の場合被害が60万以上、幅員2m以上です。それ以外、小災(単独事業)60万以下は起債事業で、市道が要件です。河川は基準額60万以上が補助債の対象になります。	建設部長
先般、大雨が降り、災害があったと思います。面積や災害金額等、それ以下は事業として認定できないとお聞きしましたが、どういふ決まりがあるのかご教示願います。	農業用施設災害については、6月の梅雨前線で甚大な被害を受けています。お見舞い申し上げます。災害の基準は農林水産省所管の国庫補助は農地(田、畑、樹園地等)、農業用施設(農道、農地地滑り等)、農地は田畑の被災が、1件で40万円以上と決まっています。農業用施設につきましても、農道、農業用排水路についても40万円以上が国の補助事業の基準です。被災を受けたら、支所や農林水産部に連絡してもらい、職員が調査します。状況によっては、40万円以下の場合もあります。40万円未満は自力復旧になります。	農林水産部長
行政の基本は、何かといえば、いかにしてそのまを金持ちをさせるかだと思います。それが行政の目的だと思っています。基本は、農地の基盤整備だと思います。農村地帯なので、市民を金持ちにさせる大きな柱だと思います。元西有家町時代の助役が、休みの日に西有家町を基盤整備するところが、見ていらっしやいました。基盤整備が難しいのは、感情的なところがたくさんあります。このことが農地基盤整備が遅れている最大の原因だと思います。基盤整備に力を入れてほしい。 農業者年金の会で、福岡、佐賀に1000丁の基盤整備しているところがあるので、見に行くようにしています。	市の行政も家庭も同じですが、経済基盤がしっかりしていないと、福祉や教育等思うような行政はできません。まずは、基幹産業の農業振興を図らなければいけないと考えています。そのためには今の基幹産業の農業漁業の振興を図らなければならず、農地整備は個人の財産であり、市の財産です。市として基盤整備をすれば、国からの財政的な投入もされ、市の財産、皆さんの財産の価値が上がります。 南島原市の特徴、歴史文化を大きく生かしたまちづくりを、外に向けてどう発信し、交流人口を増やしていくか、市政の発展を目指していかなければいけません。	市長
防災無線が部屋の中に入ら、音が割れて何を言っているのか聞こえないので、聞こえるようにしてほしい。西有家内で住居を変更したため、もう一つ個別受信機の配布をお願いしましたが、予算の都合でと断られました。前住んでいた時、使っていた個別受信機は周波数が違うので使えないと言われたので返却しました。現在、個別受信機がありません。	アナログからデジタルに変更している最中です。それでも、個別受信機は使えるようになってきました。西有家地区は他地区に比べて、屋外スピーカーが少ない状況であるため、個別受信機を全世帯に配布している経緯があります。個別受信機がないということです。後日連絡し、対応します。 【後日回答】	総務部長
	【後日回答 対応済】 8月2日に総務課職員が質疑者宅を訪問。防災行政無線については、アナログからデジタルに変更している最中ですので、音がクリアになり聞こえやすくなりますと説明。個別受信機については、新しい分の配布はしていませんと説明し、在庫確認をすること伝える。  8月11日に総務課職員が質疑者宅を訪問し、個別受信機の在庫がなかったこと伝え、了承を得る。質疑者も前住んでいた家屋をもう一度探してみると回答。	総務課
精霊船の処理について、今年どうなっているのかお尋ねします。 タクシー券が500円にならないのかと多く声があります。今一月に3枚36枚です。一月2枚24枚で1枚500円はできませんか。500円の2枚を考えていただきたい。	①精霊船の処理については、8月号の広報紙に掲載しています。例年と同じで、分別や指定場所に直接搬入について記載しています。具体的には大きなものは、2m×1m×60cm以下にしてもらい、一つ50キロ以下にしてください。金属類、燃える分にかけてもらう(灯籠には針金が使われている)。水分が多い物はよく切ってもらい。花火などはまざらないようにしてもらい。分別してもらい、収集場所に搬入してもらい。ごみ袋に入るようであれば、入る分は構いません。収集場所は、ゴミ袋は定期便の収集日に出してください。ゴミ袋に入らない燃える物は、有家～加津佐はクリーンセンターへ。布津と深江は東部リレーセンターへ。燃えない物は、リサイクルプラントへ。精霊船の処理については、昨年度と同じです。燃えないゴミは、無料で受け入れています(支所で受入れ券必要)。  ②タクシー券については、以前有家、西有家、北有馬でしていました。外出回数を増やしていくことにつながればとの考えから、まずは300円と設定しました。利用状況は、私が考えていたより少ない状況でした。今後、財政状況を踏まえ検討させていただきます。	①市民生活部長 ②市長
私は、朝ウォーキングをしていますが、灘の煉瓦通りの煉瓦が一カ所3個外れています。危うく転びそうになりました。早急に対処をお願いします。	早急に対応します。	建設部長

質疑内容	回答	回答者
旧西有家駅前の一軒の件は、どうなっていますか。昨年質問しましたが、何も返事がありませんでした。	昨年は、取り外すべきかどうか活かすべきかと検討していたところ、自治会から残してくれと要望がきました。現在、見積もりを頂いている状況です。今年度の補正予算で計上できるかどうか検討します。	企画振興部長
私は全く耳が聞こえません。3月11日の東日本大震災のことで、心配なことがあります。情報のことですが、災害無線があるということですが、私は全く聞こえないので情報がなかなか入ってきません。耳が聞こえない人に対しての情報保障の考え方をお聞かせください。  前回、原城マラソンに私の妻と一緒に参加していますが、今年はなくなったと聞いています。マラソンはどのような開催条件になるのかお聞きします。南島原市の聾啞者は15人、さらに盲聾者4人います。いろいろ支援をお願いします。	①今、市が取り組んでいる対策は、高齢者や障害者等の災害時要援護者の登録を昨年行い、万一の災害時にサポート役をどなたにするか届け出てもらい、データベース情報を登録し、情報の整理をしているところです。今後は、FAXや携帯のメール等による情報提供についても、今後、部内で検討していきます。  ②平成24年2月26日に、新しいかたちでの原城マラソン大会を実施する計画が進めています。ご参加願います。	①福祉保健部長 ②教育長
島鉄跡地に関して、幅が限られており、どういう使い方ができるか苦労されていると思います。外港から加津佐まで約30キロあり、使い方次第では意味があると思います。アイデアの一つとして、30キロ続く桜並木は日本にないはずで、日本一になる手だては何かないか。経費がかかりますので、旧8町の沿線住民のボランティア精神の力を活用し、立派な桜街道を育成してはどうでしょうか。やってもやれないことはないと思います。30年後には日本一の南島原桜街道がPRできるのではないのでしょうか。	日本一という目標は、いつも大事だと思います。一番重要なのは、8カ町の人たちが一つになり、木を植えようということが実現すれば、時間を掛けてでもやる価値があると思います。植栽の条件や土壌の状態等がありますが、大変貴重な意見です。大変ありがとうございました。	高田副市長
昨年、みそ五郎の森運動公園等で全国小学生ソフトボール大会が行われ、いろいろな意味で価値が大きかったと思います。各種大会の誘致事業にぜひ力を入れていただきたい。	県ソフトボール協会と島原半島ソフトボール協会が誘致を頑張ってもらいました。今後、市をもっと知ってもらうため、大会誘致のため、PRしていきます。	市長
崖崩れがあったので、担当に見てもらいました。程度が少ないため、該当しないと回答がありました。崖崩れはこの程度で済んでよかったと思っています。水路や市道は皆さんが利用するので修理してもらい必要があります。自治会でしてくださいとなるようですが、温かみの行政で何か対策があるはずではないでしょうか。	災害については、国の40万円を超える分は市が災害復旧に当たります。市の方でどうにかなりませんかとのことですが、市の単独事業で農道、用排水路、ため池等、1/2の補助事業があります。関係戸数2戸以上であれば、最寄りの関係者と協議して相談ください。担当に現地でも十分説明するよう指導していきます。	農林水産部長
南島原でも花嫁がいけないと言うことで、10年、20年後は今の人口の6割になるのではと思います。市や議会は一番に取り組んでもらいたい。結婚し、子どもができればお金を支給する必要があると思います。45、50歳でも結婚していない人がたくさんいます。奥さんが増え、子供ができれば、自然に人口増になります。人口増の施策に、行政は力を入れてください。議会でも取り組んでください。	後継者がいてこそその将来ですので、市としても取り組んでいかなければいけません。農業が基幹産業でありますので、農業委員会が主体となり、取り組んでもらっています。イベントをしても、実を結ばない状況もありますが、花嫁不足対策や少子化対策は必要です。ありがとうございました。	市長
西有家町見岳小学校の北側の交差点(市道と広域農道)を改良して、段差を無くしてもらいたい。	広域農道がカーブし、市道の勾配があり、現場を見て、今後検討します。 【現場確認後回答】	農林水産部長
	【現場確認後回答 対応済】 8月2日午後4時より現地において関係者及び、市道との交差点であるので建設課を交えて立会を行った。 地元の要望としては、上見岳から下って島原方面へ左折する時、交差点に段差があり大型車は曲がりきれない。また、交通事故も数回発生しているので交差点の段差を解消してもらいたい。 現交差点は広域農道が幹線道路で市道の方が一旦停止となっているため、市道の改良で対応する方向で建設課へ要望書を提出していただくことで地元関係者の了解を得た。	農村整備課
	上記のとおり立会を行った。 質疑事項の詳細、現状の実態、通行状況を確認した。現状での段差の解消は、現在の交差点内では困難である旨説明した。(停止区間、道路勾配での擦りつけが現状より悪くなる事態が懸念される) 根本的な交差点改良を要望されるのであれば、大規模な改良工事となることも予測されることから周辺自治会での要望確認を済ませて要望書の提出願いたい旨説明し立会を終了した。	建設課